

面接/Face-to-face

学則第9条の5対象：対象外/Not Applicable

Article 9-5 of the Undergraduate Regulations applies

10403312-026

○3年次演習関連科目1-26（世界と関西経済の実践的解明・応用編）

2単位/Unit 春学期/Spring 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Third Year Advanced Seminar 1-26 (Practical Solutions in Globalization and Kansai Economy (Applied))

西岡 幹雄 笠井 高人

<概要/Course Content Summary >

3年次演習の関連科目である世界と関西経済の実践的解明・応用編は、コロナウイルス感染症、地政学リスクあるいはロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ衝突などによる社会・経済的影響下にあっても、世界のグローバル化と政治経済の動きに積極的に対応・展開してきた関西の政治経済において、これまで培われてきた客観性と合理性を、新たな諸資料を駆使して解明する。学部やゼミ段階で、各学生が誰でも活用できる簡単なツールを使い、自己基礎力を蓄積・拡張させていくことは、急速なグローバル化と政治経済のデータ分析化に不可欠なものであり、かつ思想と学説の知的インフラ作業となる。

<到達目標/Goals,Aims >

3年次演習生は、実証的な経済諸制度の分析、地域経済、経済組織・経営戦略などの具体性を簡単な手法で明らかにする作業、あるいは簡単な経済統計ツールを使い実証性による思想の根拠づけを、実践する。そして、その成果が公的プレゼンテーションなどで説得力をもつ知的ツール段階までになるよう、個々の実践力を高める。

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the "DO Week" >

なし/Not deliver the video

<授業計画/Schedule >

実施時期/ Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
	授業計画外の学習/Assignments		
第1週		なし	0分/min.
DO Week			
第2週	第1回 世界と関西経済の応用編の実践的解明(1)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の担当教員による説明(1) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第3週	第2回 世界と関西経済の応用編の実践的解明(2)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の担当教員による説明(2) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第4週	第3回 4回生による世界と関西経済の実践的解明(1)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の実践例(1) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第5週	第4回 4回生による世界と関西経済の実践的解明(2)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の実践例(2) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第6週	第5回 関西地域・応用編の産業連関・原理と実践(1)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践(1) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		

第7週	第6回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (2)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (2) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第8週	第7回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (3)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (3) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第9週	第8回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (4)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (4) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第10週	第9回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (5)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (5) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第11週	第10回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (6)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (6) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第12週	第11回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (7)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (7) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第13週	第12回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (8)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (8) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第14週	第13回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践 (9)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践 (9) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
第15週	第14回 関西地域・応用編の産業関連・原理と実践(10)	面接/Face-to-face	90分/min.
	応用編の原理と実践(10) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。		
授業期間 終了後/ After the Class Period	第15回 世界と関西経済の実践的解明・応用編のまとめと意義	面接/Face-to-face	90分/min.
	「世界と関西経済の実践的解明・応用編」の内容を全体的に振り返り、個々に展開された重要点を再確認する。また、この内容を基礎にしたレポート作成についても、取り上げる。 「世界と関西経済の実践的解明・応用編」の内容を全体的に振り返り、これを基礎にしたレポート作成に必要な箇所を履修者個々が、事前に整理しておく。		

授業計画の個々の実施回と内容については上記の通りですが、その進展具合によって、若干、授業計画を変更する可能性があります。

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1350分/min.
オンデマンド (動画視聴) /On-demand(watching video)	0分/min.
オンデマンド (授業内課題) /On-demand(assignment in class)	0分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0分/min.
その他/Others	0分/min.
総合計/Total Amount class hours	1350分/min.

アクティブラーニング/Active Learning

発見学習 / Discovery Learning, 体験学習 / Experiential Learning, 調査学習 / Research Based Learning, 課題解決型学習 / PBL (Project Based Learning), 問題解決型学習 / PBL (Problem Based Learning), ディスカッション / Discussion, デイバート / Debate, グループワーク / Group Work, プレゼンテーション / Presentation, 実習 / Practical Training, フィールドワーク / Fieldwork

使用システム/System tools

e-class

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

平常点(クラス参加, グループ作業の成果等) 10%

出席, クラス参加の成果等

期末レポート試験・論文 50%

論題・テーマに対してどこまで理解できているかが評価ポイント

クラスで発表など 30%

講義時間中にその内容にかかわる発表

クラスへの貢献度 10%

講義に積極的にかかわった成果等

関西地域・応用編の産業連関・原理と実践にかかわるアイデア提供貢献度, 平常点(出席, クラス参加, グループ作業の成果や貢献等), クラスで発表など, および期末レポートのそれぞれが有機的な成績評価につながる。

<テキスト/Textbook >

小長谷一之・前川知史『経済効果入門ー地域活性化・企画立案・政策評価のツールー』（日本評論社，2014）第Ⅰ部・第Ⅱ部，ISBN:4535556601

<連絡方法/Contact method >

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

本学 HP から e-class にアクセスして，「3 年次演習関連科目 (世界と関西経済の実践的解明・応用編)」からアクセスしてください。

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

本学 HP から e-class にアクセスして，「3 年次演習関連科目 (世界と関西経済の実践的解明・応用編)」のページから行います。（また DUET を利用する場合もあります。）